

平成20年度 国立赤城青少年交流の家企画事業  
「あかぎ交流の森創造プロジェクト」

< 実 施 報 告 書 >

国立赤城青少年交流の家

期 日 ・ 場 所 : ①平成20年7月12日(土)～平成20年7月13日(日)  
②平成20年10月19日(日), 11月3日(日), 11月9日(日)  
③平成20年11月24日(月)  
独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立赤城青少年交流の家  
〒371-0101 群馬県勢多郡富士見村大字赤城山27

事 業 名 : あかぎ交流の森創造プロジェクト  
①環境教育指導者・支援者養成セミナー  
②環境教育指導者・支援者フォローアップセミナーⅠ, Ⅱ, Ⅲ  
③公開セミナー・発表交流会

趣 旨 : 本所周辺の森林環境を題材に、本所がこれまで構築してきたネットワークを活用しつつ、研修支援事業やボランティア活動などの活動する場と講座とをリンクすることで、学校の体験型環境教育活動のプログラム提供と指導者・支援者の育成を図る。また、学校と地域をつなぐ連携システムの構築に迫る。

事 業 の 特 色 : 民間・NPO、企業、市町村行政・教育委員会、県立施設、本所で進めている赤城自然塾構想と連携し補完する事業である。  
赤城南面に広がる広大な単相松林の壊滅が避けられないため地元だけでなく恩恵を受ける首都圏も巻き込んだ森作りが求められており、本所が拠点として役割を果たすに必要な事業である。

募 集 人 員 : ①②高校生・学生・社会人 20名 ③高校生・学生・社会人 100名

参 加 者 : ①10名 ②11名 ③84名

参 加 者 地 域 : 群馬県 : 99名、埼玉県 : 1名、東京都 : 3名、新潟県 : 2名

企画のポイント : 今年度は「炭を使った植林」と「木登りアドベンチャー」の指導者・支援者の養成を中心に取り組んだ。また、これらの活動の所としてのノウハウの蓄積と関係者のネットワーク作りに力を注いだ。  
「赤城自然塾設立準備会」との実際の活動を通じた連携を進めた。  
「子どもゆめ基金モデルプログラム開発事業」とも連携し、本所周辺で実際にこれらのアクティビティが展開可能となるようにした。

広報のポイント : 地元前橋市教育委員会を通して教師への広報に重点を置いたが、反応はほとんどなかった。各学校の教育課程に今のところ「環境教育」等が位置づけられていないため、自分から参加しようとする教師が少ないものと考えられる。  
「赤城自然塾設立準備会」のネットワークによるNPOや社会教育施設・教育委員会等へのロコミ的な広報による参加者が多かった。

プログラム展開 : 【 環境教育指導者・支援者養成セミナー】

< 7月12日(土) 1日目 >

10:00 開会・アイスブレイク  
11:00 講義「地球環境と植林」  
講師：大森 禎子氏  
12:30 昼食  
13:30 実習「木を植えよう」講師：両角 衆氏  
16:30 実習「植林四方山話」講師：両角 衆氏  
18:00 夕食・入浴  
19:30 ナイトウォーク  
20:20 情報交換会  
22:30 就寝準備

< 7月13日(日) 2日目 >

6:30 起床  
7:10 朝のつどい・朝食  
9:00 講義・演習「木に登ろうⅠ」  
講師：増田 淳氏  
10:30 実習「木に登ろうⅡ」  
講師：増田 淳氏  
12:30 昼食  
13:30 実習「森の守り方」  
講師：両角 衆氏  
15:30 演習「よりよい指導者・支援者となるために」  
16:15 終了

【 環境教育指導者・支援者フォローアップセミナー , , 】

< : 10月19日(日) 木登りアドベンチャー1 >

8:30 受付  
9:00 開会・実習1  
12:00 昼食  
13:30 実習2  
16:30 終了

< : 11月3日(日) 森林整備 >

※ 受講者は子どもゆめ基金モデルプログラム実証事業にスタッフとして参加終了後。  
14:00 開会・演習①  
15:00 講義・演習②  
17:00 終了

< : 11月9日(日) 木登りアドベンチャー2 >

8:30 受付  
9:00 開会・実習3  
12:00 昼食  
13:30 実習4  
16:30 終了

【③公開セミナー・発表交流会】

< 11月24日(月) >

9:15 開会式・赤城自然塾の取り組み報告  
10:40 研究発表と質疑「改訂学習指導要領に定める環境教育の役割と位置付け」 講師：西菌大実氏  
12:00 講義「わかりやすい赤城自然塾」  
12:30 昼食  
13:15 体験セミナー A：森林整備体験→木登り体験 B：木登り体験→森林整備体験  
C：森林整備体験→炭焼き体験 D：炭焼き体験→森林整備体験  
15:40 演習「よりよい指導者・支援者となるために」  
16:30 閉会式

成 果 : 公開セミナー・発表交流会は、赤城自然塾設立準備会との共同開催をすることができ、準備会に所属するさまざまな団体との実動的なネットワークが深まった。

各活動の講師・受講者と本所との人的なネットワークを構築することができた。

本所で展開する「木登りアドベンチャー」や「炭を使った植林」のプログラムや実施にあたっての

ノウハウを蓄積することができた。

今後の課題： 「木登りアドベンチャー」では、自主的な研修や所員の研修も発展し、来年度は所員と施設ボランティアによるイベントの開催が可能な段階となる。「炭を使った植林活動」では、炭焼きや植林のノウハウとともに、地主である富士見村との連携や森林組合の協力なども形となってきた。このネットワークを基に、企画事業だけではなく、研修支援事業や子どもゆめ基金などとも関連させながら、継続的に取り組んでいく必要があると考える。



木登りアドベンチャー  
受講者が支援をしています。



炭を使った植林  
土壌改良材として炭を使います



「伏せ焼き」による炭焼き  
松枯れ材を炭にします